

「飛騨高山森林組合本所建設 設計プロポーザル」 設計要件

【目的】

合併17年目となり、これまで営業所等の事務所を集統合して来たが、まだ各部署は分散しているため、業務伝達や情報共有等職員間コミュニティの改善が必要となっている。

このような課題を解消し、業務の合理化や経費削減、併せて地域林業の拠点施設の設置を目的として本所を建設する。

【コンセプト】

地域の方が気軽に来てもらえる地域林業の拠点
 地元の木で技術で木の香りのするぬくもりのある建物

1. 敷地、立地

(1) 敷地について

住 所	高山市新宮町112番地17 (木の里団地内)
敷地面積	4,093 m ² (1,238.13坪)
用途地域	高山市「都市計画区域」白地地域
建ぺい率	60%
容積率	200%
高低差	道路、隣地との高低差はなし。敷地は平坦。

(2) 建設予定地

別図1による

敷地内北側に南向きの建物とする

南側の現建物（工場）は整地し倉庫・駐車場として利用予定

それ以外の建物・設備等は撤去するものとする

※ 撤去費・整地費は工事費に含めない

2. 設計要件

(1) 構造等 木造主体 (新工法・在来工法を取り入れる)

(2) 延べ面積 1,000 m²程度 (300坪程度)

(3) 部署別人員構成

部署	職員数(現在)	
総務部	5	
森林事業部	6	
販売部	3	
東支所	9	
西支所	7	
南支所	8	
計	38	

(4) 必要室等

事務室	上記部署分	ワンフロアー
組合長室		
書庫	(耐火)	20~30㎡
書庫		30~40㎡
倉庫		10~20㎡*1室・40~50㎡*1室
会議室	(大)	100名程度・分割機能あり
会議室	(小)	10名程度*2室

(5) 屋外施設等

駐車場 80台分程度

組合車両	27	
役職員車両	39	
来客用他	14	
計	80	

洗車場 1箇所

(6) 基本要件

① 機能性・安全性

ユニバーサルデザイン

耐火・耐震性能

防犯・セキュリティー機能

維持管理で経済性に優れた機能

② 環境への配慮

自然エネルギー利用

ZEB (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)

周辺地域との調和

③ 木材の利用

高山市・白川村産材の活用

飛騨の匠の技術の活用

新工法・新技術・新素材等

(7) その他配慮事項

◎ 地域の役割（貢献）

林業木材産業の拠点・森と木のふれあい機能
（研修機能、木育機能、伝統木工・家具の展示等）

(8) 概算工事費 概ね 250,000千円以内

(9) 建設予定時期 令和5年4月入札 令和5年度中完成 予定

(10) その他

プロポーザル後の基本設計、実施設計にあたっては岐阜県立森林文化アカデミーの木造建築専攻の教員のアドバイスを受けること。

※ 建設予定地（敷地）については取得予定ですが、現在は現事業者（高山木材加工株式会社様）により事業運営されております。 当組合からお願いはしてありますが、現場確認等
の場合は、事前に現事業者（高山木材加工株式会社様）の許可を得て立ち入るようお願い
致します。